

令和3年度茨城県教育研修センター外部評価委員会

1 外部評価委員会委員名簿

所 属 及 び 職 名	氏 名
国立大学法人茨城大学 教育学部長	荒川 智
国立教育政策研究所 教育政策・評価研究部総括研究官	橋本 昭彦
独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター長	清國 祐二
株式会社茨城新聞社 代表取締役社長	沼田 安広
有限会社アクティブコンピュータ 代表取締役	鈴木 宏治
水戸市立千波小学校 校長	近重 敦子
茨城県立竹園高等学校 校長	川村 始子
茨城県立水戸特別支援学校 校長	宮山 敬子

2 実施計画・結果

第1回外部評価委員会	
開催日	令和3年7月27日（火曜日）＊オンライン会議
議 事	<ul style="list-style-type: none">・教育研修センターの概要について・令和2年度事業実績について・令和3年度事業計画について・令和2年度外部評価委員会の評価結果について・事業評価に関する様式等について・質疑応答
第2回外部評価委員会	
開催日	令和3年11月12日（金曜日）
議 事	<ul style="list-style-type: none">・研修講座の紹介・研修講座の参観・研修講座に関する意見交換等
第3回外部評価委員会	
開催日	令和4年2月22日（火曜日）＊オンライン会議
議 事	<ul style="list-style-type: none">・令和3年度各事業の実績及び評価・外部評価委員による事業評価

令和3年度外部評価委員会評価票の集計

次の各項目について、該当するものを選んでください。

- A：そう思う
- B：どちらかといえばそう思う
- C：どちらかといえばそう思わない
- D：思わない

1 研修センターの事業について

- ① 各事業の内容が具体的で分かりやすくなっているか。
- ② 教職員のライフステージに即した研修体系になっているか。
- ③ 研修事業について

- ア 研修講座は、教職員の資質能力の向上及び指導の改善につながっているか。
- イ 受講者のニーズを把握した研修内容になっているか。
- ウ 所員の専門性の向上は図られているか。

④ 研究事業について

- ア 各研究分野における内容は、国及び県の教育施策を反映した喫緊の課題に対応しているか。
- イ 研究成果は、学校教育活動に生かされているか。

- ⑤ 校内研修支援事業は、学校現場の校内研修の活性化及び課題解決に貢献しているか。
- ⑥ 相談事業は、児童生徒・保護者等の問題の解決へ向けて適切に対応しているか。
- ⑦ 教育情報の収集及び提供に関する事業は、教職員の多様な要望に応えているか。

⑧ 研修センターの内部評価について

- ア 教育研修センターが実施している各事業の達成目標、達成度評価は、適切であるか。
- イ 内部評価は、適切に行われているか。

2 施設設備の整備等について

- ① 受講者の健康管理・安全管理体制は、確立されているか。
- ② 施設設備の維持管理が十分行われているか。
- ③ 障害者に対して十分配慮されているか。
- ④ 危機管理体制が確立されているか。
- ⑤ 清掃の状況は行き届いているか。

3 外部評価委員会について

- ① 開催回数及び時期(7月・10月・2月)は、適切であるか。
- ② 開催内容(施設見学・研修講座参観等)は、適切であるか。
- ③ 評価のための資料は、適切であるか。
- ④ 評価票の項目及び評価方法は、適切であるか。

人数(人) (計8人中)			
A	B	C	D
8	0	0	0
7	1	0	0

6	2	0	0
6	2	0	0
4	4	0	0

5	3	0	0
5	3	0	0
4	4	0	0
6	2	0	0
2	6	0	0

6	2	0	0
5	3	0	0

7	1	0	0
3	5	0	0
1	6	1	0
6	2	0	0
5	3	0	0

6	2	0	0
7	1	0	0
4	4	0	0
3	5	0	0

令和3年度茨城県教育研修センター第3回外部評価委員会記録

日時	令和4年2月22日（火曜日） 午前10時00分から午前11時30分まで
方法	Web会議システムによるオンライン会議
出席者	<p>○外部評価委員</p> <p>荒川 智 委員 橋本 昭彦 委員 沼田 安広 委員 鈴木 宏治 委員 近重 敦子 委員 川村 始子 委員 宮山 敬子 委員</p> <p>○茨城県教育研修センター</p> <p>所長 猪瀬 宝裕 次長 菅野 弘司 次長兼教職教育課長 木村 真理 企画管理課長 興野 典子 教科教育課長 櫻井 良種 情報教育課長 渡邊 聡 教育相談課長 関口 一治 特別支援教育課長 岡田 奈奈 企画管理課指導主事 小林 豪 企画管理課指導主事 身内 卓也</p>
次第	<p>1 開会</p> <p>2 所長あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 令和3年度各事業の実績及び評価</p> <p>(2) 外部評価委員による事業評価</p> <p>(3) その他</p> <p>4 閉会</p>

1 開会

2 所長あいさつ

3 議事

(1) 令和3年度各事業の実績及び成果

- ・事務局から、資料1「令和3年度事業等の実施状況」、資料2「令和3年度各事業における事業評価」、資料3「令和3年度事業に関する100校抽出アンケート結果」について説明した。

(2) 外部評価委員による事業評価（○は委員、●は事務局を表す）

【1 研修センターの事業について】

- 「学びを止めない」「研修を止めない」という方針の通り、事業を生き生きと続けることができています。
- 先手、先手で、オンライン研修への対応が、それぞれの所員でできていた。
- 研修センターの果たす役割はとても大きいので、県内のすべての教員の資質の向上に繋がっている。
- 学びたいときに学べるシステムができて、今後も期待感をもてる。

- 内部評価の在り方で学んだかどうかという問いだと評価しやすいが、理解しましたかという問いでは、本人が理解しましたといっても、それをアウトプットしたときに、本当に理解したかどうかということが疑問である。アウトプットやリフレクションに重点を置いた内部評価にする方が今後につながると思う。
- 来年度から今まで以上に、研修最後のリフレクションの時間に重点を置き、対応していきたい。どう振り返ったかをアウトプットしていく方向で考えている。

【2 施設設備の整備等について】

- 受講者の健康管理、特に感染症対策がしっかりされている。また、安全対策もしっかりできている。
- 研修室を利用しているときに、パソコンの画面がモニターに映し出されない不具合が発生した。原因は、転がし配線をしているため、受講生に踏まれ断線してしまうことや、グレードが違うケーブルを混在して使用してしまっているからだとする。そのため、HDMI ケーブル等消耗品は、追加購入ではなく、部屋単位でのリニューアルが必要と思う。
- 受講者のアンケートによると空調設備の調子が悪いようであるが、対策はどうしているのか。
- さらにバリアフリー化（車いす席の場所を工夫する等）を目指し、健常者と同じように活動できるようにしてほしい。
- HDMIケーブル等のトラブルをなくすためにも、無線接続を推奨していきたい。
- 随時、定期点検等をし、施設の延命を図っているところである。ブルーヒーターや扇風機などを併用し快適な環境を目指している。

【3 外部評価委員会について】

- 開催回数、時期については、7月、11月、2月と、回数、内容ともに適切である。ただし、小中学校にしてみると、2月は後半より前半にさせていただけるとありがたい。
- 施設見学や講座見学の参観等については、コロナ禍のため1回しかできず残念であったが、日々、研修センターが進化していることは感じられている。
- 外部評価の項目立てについては、改善の余地があると思う。アウトプットができるような外部評価の項目の改善をしていただければありがたい。
- 研修センターで一番大事なのは、所員の専門性の向上であると思う。専門性の向上がなされなければ、どんなに講座の枠を広げても意味はない。そのため、所員の専門性の向上に関する評価項目を入れてほしいと思う。また、専門性が向上したか判断できる資料があればと思う。
- 講座が増えているので、指導主事も勉強しなければならないと思う。そのため、指導主事が専門性を向上するための時間が取れているのか心配である。
- 可能な限り働き方改革を行っていき、専門性向上の時間（課内研修等）を確保していきたいと考えている。

(3) その他

- ・事務局から今後のスケジュールについて説明する。

4 閉会